

## 金沢美大柳宗理デザインミュージアム（仮称）実施設計等の概要について

### 1 施設整備に関する基本的な考え方

#### ① 特徴的な建築意匠の復元への配慮

国の登録有形文化財にも登録された谷口吉郎氏設計の建築物であり、建築意匠の長寿命化及び重層的な建築文化の継承を図るため、特徴的な建築意匠の復元に配慮する。

#### ② デザイン資料の活用に最適な空間の創出

柳宗理のデザイン資料の効果的な活用を図るため、資料の展示や調査研究等の様々な活動を可能にする空間を創出する。

#### ③ 安全で安心な交流拠点の実現

市民や来街者等にかれた施設として、十分な交流スペースを確保するほか、国内外から多くの人々が訪れ、交流する施設として、バリアフリー化や耐震化、省エネ型設備に対応するなど、安全で安心な交流拠点を実現する。

### 2 展示構成

1F 無料・交流ゾーン
-------------

谷口建築と柳デザインの対話

2F 常設展示ゾーン
------------

柳宗理を知る・感じる・触れる

3F 企画展示ゾーン
------------

デザインギャラリー Design Intersection Hub

### 3 今後のスケジュール

改修工事     令和7年度から2年程度

外観図



内観図（２Ｆ）常設展示ゾーン



内観図（１Ｆ）交流ホール



内観図（３Ｆ）企画展示ゾーン

